

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 マサル

コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 荻谷 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大木 信雄

TEL 03-3643-5944

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	145	—	△234	—	△233	—	△229	—
21年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△52.25	—
21年3月期第1四半期	—	—

(注)当社は、平成21年4月1日付で連結子会社の株式会社テクマを吸収合併し、平成22年3月期より非連結となったため、前期実績、対前期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
22年3月期第1四半期	7,703	—	2,491	—	32.3	—	566.57	
21年3月期	7,114	—	2,734	—	38.4	—	621.60	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,491百万円 21年3月期 2,734百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	4.00	4.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	2,300	△13.6	△110	—	△100	—	△120	—	△28.72
通期	8,000	△14.1	120	△9.8	100	△13.5	30	—	7.18

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	4,505,757株	21年3月期	4,505,757株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	107,629株	21年3月期	106,740株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	4,398,424株	21年3月期第1四半期	4,158,400株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、景況感に一部下げ止まりの兆しが見られるものの、昨年からの企業収益の悪化により民間設備投資は停滞し、雇用情勢の不安定化により個人消費意欲が低迷するなど、依然厳しい状況で推移しております。

建設業界におきましても、公共投資は底堅い動きが見られたものの、民間投資は企業収益の大幅な減少、住宅・不動産市況の悪化など取り巻く環境は厳しさを増しており、先行きは依然不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社は「一丸となって不況を乗り切る」との年度方針のもと、採算重視を最優先に受注増強のための営業体制強化、業務効率化に向けて多能工の育成、経費削減を含め工事原価圧縮推進など、諸施策に取り組んでまいりました。

当社の通常の営業の形態として第4四半期に完成する工事の割合が大きく、業績に季節的変動があります。

その結果、第1四半期の受注高は21億86百万円、売上高につきましては1億45百万円となりました。利益面につきましては、当初の予想通りではありますが、経常損失は2億33百万円、四半期純損失は2億29百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて10.0%増加し64億88百万円となりました。これは、主に未成工事支出金等が増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて殆ど変わらず僅か1百万円増加し12億14百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて23.5%増加し47億45百万円となりました。これは、主に未成工事受入金等が増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて13.2%減少し4億65百万円となりました。これは、主に長期借入金等が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて8.9%減少し24億91百万円となりました。これは、主に利益剰余金等が減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて3億23百万円増加し5億84百万円となりました。当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

未成工事支出金の増加などで資金減少もありましたが、売上債権の減少や未成工事受入金の増加などで資金増加があり、6億81百万円のプラスとなりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

会員権の償還等により、1百万円のプラスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金や長期借入金の返済などにより、3億59百万円のマイナスとなりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成21年5月20日に公表いたしました業績予想通りです。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期会計期間より適用し、当第1四半期会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、売上高は14,925千円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ746千円減少しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金預金	1,060,448
受取手形・完成工事未収入金等	1,026,416
未成工事支出金	4,140,331
材料貯蔵品	10,177
その他	251,215
貸倒引当金	△518
流動資産合計	6,488,069
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	213,711
その他(純額)	8,287
土地	551,163
有形固定資産計	773,162
無形固定資産	
ソフトウェア	3,231
その他	29,931
無形固定資産計	33,163
投資その他の資産	
投資有価証券	155,036
その他	344,674
貸倒引当金	△91,050
投資その他の資産計	408,660
固定資産合計	1,214,986
資産合計	7,703,056
負債の部	
流動負債	
支払手形・工事未払金等	1,239,644
短期借入金	907,800
1年内償還予定の社債	60,000
未払法人税等	2,073
未成工事受入金	2,399,014
賞与引当金	16,999
工事損失引当金	69,282
その他の引当金	3,035
その他	47,943
流動負債合計	4,745,794
固定負債	
社債	240,000
長期借入金	151,000
負ののれん	4,742
その他	69,655
固定負債合計	465,397
負債合計	5,211,192

(単位：千円)

当第1四半期会計期間末
(平成21年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	885,697
資本剰余金	1,261,600
利益剰余金	382,981
自己株式	△38,454
株主資本合計	2,491,824
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	40
評価・換算差額等合計	40
純資産合計	2,491,864
負債純資産合計	7,703,056

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	145,500
売上原価	196,000
売上総損失(△)	△50,499
販売費及び一般管理費	
役員報酬	24,322
従業員給料手当	70,774
賞与引当金繰入額	13,690
減価償却費	4,680
その他	70,656
販売費及び一般管理費合計	184,124
営業損失(△)	△234,624
営業外収益	
受取利息	463
受取配当金	825
材料報奨金	6,589
負ののれん償却額	249
その他	5,511
営業外収益合計	13,640
営業外費用	
支払利息	6,982
手形売却損	3,752
その他	2,012
営業外費用合計	12,747
経常損失(△)	△233,731
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,517
役員賞与引当金戻入額	2,000
長期未払金戻入額	10,899
特別利益合計	14,417
特別損失	
抱合せ株式消滅差損	16,256
特別損失合計	16,256
税引前四半期純損失(△)	△235,570
法人税、住民税及び事業税	985
法人税等調整額	△6,719
法人税等合計	△5,734
四半期純損失(△)	△229,836

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△235,570
減価償却費	4,726
負ののれん償却額	△249
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,517
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34,108
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	68,317
受取利息及び受取配当金	△1,289
支払利息	6,982
長期未払金戻入	△10,899
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	16,256
売上債権の増減額 (△は増加)	1,451,375
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△1,614,025
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	△484
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△65,260
仕入債務の増減額 (△は減少)	△138,219
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	1,307,582
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△330
その他	302
小計	751,587
利息及び配当金の受取額	1,261
利息の支払額	△5,391
法人税等の支払額	△66,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	681,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金の回収による収入	1,351
会員権の売却による収入	2,650
敷金及び保証金の回収による収入	1,420
保険積立金の積立による支出	△4,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△223,000
長期借入金の返済による支出	△117,700
リース債務の返済による支出	△550
自己株式の取得による支出	△226
配当金の支払額	△17,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,073
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	323,490
現金及び現金同等物の期首残高	245,048
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,651
現金及び現金同等物の四半期末残高	584,190

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期においては、個別財務諸表は作成していないため、参考資料として、(要約) 四半期連結損益計算書を記載しております。

科目	前年同四半期連結 (平成21年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	271,103
II 売上原価	226,977
売上総利益	44,125
III 販売費及び一般管理費	223,368
営業損失(△)	△179,242
IV 営業外収益	13,411
V 営業外費用	16,617
経常損失(△)	△182,449
VI 特別利益	16,614
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期 純損失(△)	△165,834
法人税等合計	31,749
四半期純損失(△)	△197,584